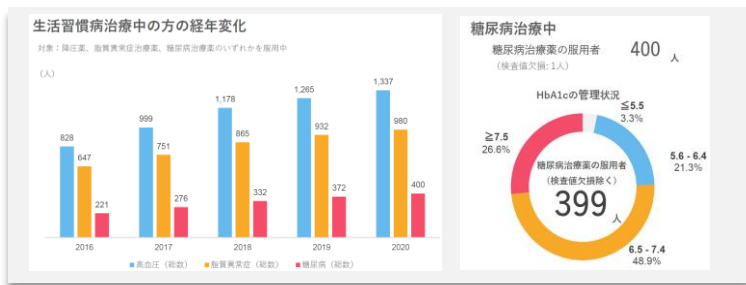


背景

- 生活習慣病は職域での医療費において大きなウェイトを占めるが、生活習慣の是正によって重症化を予防することが可能である。
- 当健康保険組合では生活習慣病治療中の加入者が増加傾向であり、また治療中の加入者の中でも管理不良者への対策は必須である。



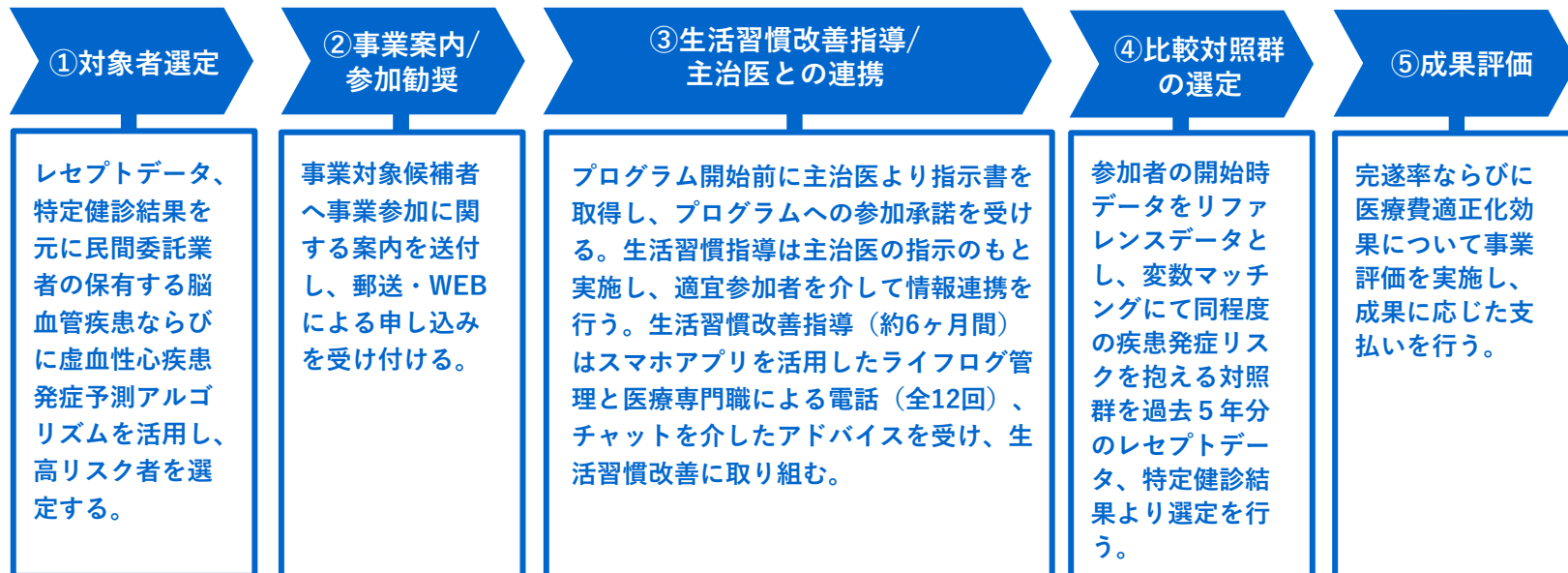
目的

本事業では、これまで既に当健康保険組合にて実施してきた生活習慣病の重症化予防事業において、ロジックモデルにもとづいて成果報酬連動型事業とすることで、事業全体における効果の可視化と事業成果の最大化を図ることを目的とする。

対象

生活習慣病（高血圧症、糖尿病、脂質異常症）治療中の方のうち、脳血管疾患および虚血性心疾患発症リスクの高い加入者とする。

事業フロー



支払いイメージ

基礎分（固定費）：

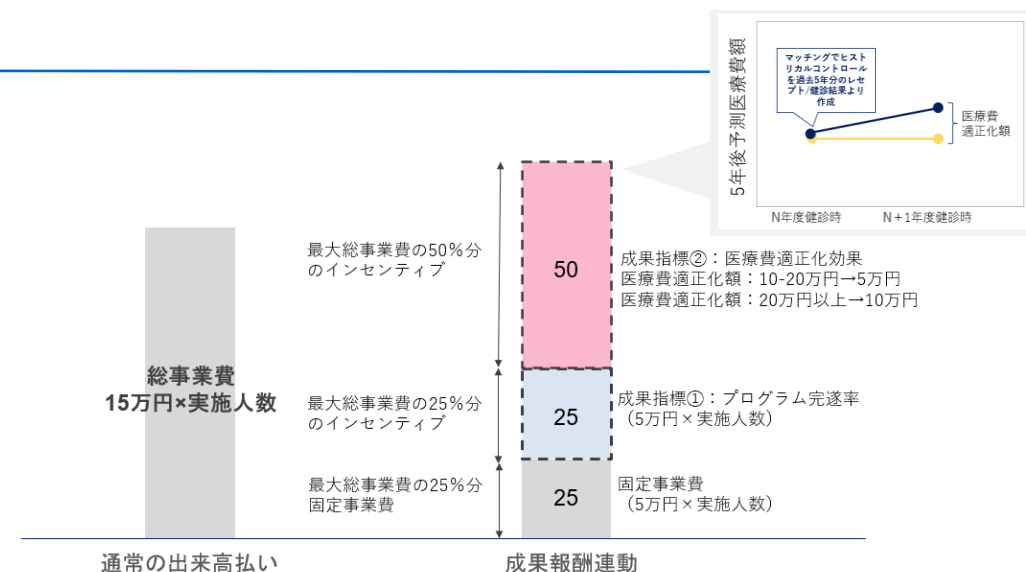
プログラム参加人数×5万円

成果指標①：

プログラム参加人数×5万円×完遂率

成果指標②：

中期効果をもとに算出した医療費適正化額に応じて支払額を決定



実施結果

サマリー

2024年3月29日時点

	事業Ⅰ (令和4年度事業)	事業Ⅱ (令和5年度事業)
高リスク者 レセプトデータならびに特定健診結果より、加入者一人ひとりの5年以内の重症化イベント発生率を算出し、重症化リスクを8段階に層別化。そのうち、上位3層に該当した方	873	903
案内対象者 高リスク者より資格喪失・禁忌疾患該当者を除いた方	684	753
申込者 案内を行い、プログラムに申し込んだ方	70	53
プログラム開始者 申込を行った内、必要書類の提出がありプログラム開始できた方	58	53
プログラム完遂者 プログラム開始した内、12回の面談を終了した方	55	25 (プログラム実施中16名)

参考：参加勧奨

案内対象者に対して、自宅に案内資料を郵送。重症化リスクに応じて案内資料を変更し、参加率向上を図った。また、一部の対象者に対しては産業医より参加勧奨を行った。



成果指標進捗

	項目	小項目	目標値	実績値
基礎分 (固定支払い)	プログラム参加者	事業Ⅰ	100人	58人
		事業Ⅱ		53人
成果連動分	成果指標① 完遂率	事業Ⅰ	100%	95%
		事業Ⅱ		令和6年度集計
	成果指標② 医療費適正化効果	事業Ⅰ 事業Ⅱ	出来高支払い金額以上の医療費適正化	令和6年度集計

今後のスケジュール

1.2 年間スケジュール表 令和6年度

	令和6年4月	5月	6月	7月	8月	9月
事業実施内容						
事業実施内容	10月	11月	12月	令和7年1月	2月	3月
事業実施内容	成果指標①事業Ⅱおよび成果指標②の評価および支払い			事業成果の確認、事業報告書の作成		